おく　やま　ひろ　ば

奥 山 広 場

奥　山　広　場

奥山広場の名前は[いろは歌]の有為の奥山から名付けられたものか？
[有為の奥山]とは、無常の現世を、どこまでも続く深山に喩えたものである。

奥山広場はデルタ状にお店が並んでいる
写真正面は飲食店　左側は土産物店　右側は占いのお店

い ろ は 歌

色はにほへど　散りぬるを　　いろはにほへと　ちりぬるを

我が世たれぞ　常ならむ　　わかよたれそ　つねならむ

有為の奥山　今日越えて　　うゐのおくやま　けふこえて

浅き夢見じ　酔ひもせず　　あさきゆめみし　ゑひもせす

いろは歌は七五調になっている。

「あいうえお」48 文字を一字ずつ使用して詩を書いたものが（いろは歌）である。